

今月の 新刊紹介



テキスト 臨床死生学 日常生活における「生と死」の 向き合い方

編著：臨床死生学テキスト編集委員会
定価：本体 2400 円＋税
勁草書房

「生と死」に向き合うための手引き。多角的、学際的観点から「死」の意味を考える。思索の根拠として多くの論文や症例・事例を挙げつつ、多様な知識や概念を体系的に整理して提示し、主体的に死生を考えるための道筋を示す。



1年で育つ! 新人&先輩ナースのための シミュレーション・シナリオ集 秋編

編著：阿部幸恵
定価：本体 2400 円＋税
日本看護協会出版会

学習者の発達段階に応じたシミュレーション・シナリオを提供する人気シリーズの秋編。新人が夜勤で独り立ちする頃を想定し、4人の患者の検温と、夜勤帯での急変対応（夕食時の窒息・夜間の脳梗塞・入浴後の上室頻拍）のシナリオを収載。



褥瘡ケアステップアップ ワークブック

監修：田中秀子
執筆：渡辺光子／清藤友里絵
定価：本体 2800 円＋税
日本看護協会出版会

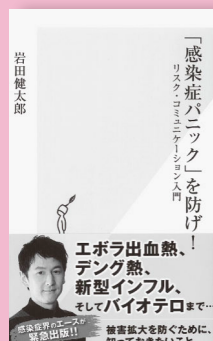
各評価法やドレッシング材の選択法、ケア手技について画像を使って解説。問題や事例によって具体的な褥瘡ケアを考えることができ、別冊解答編では詳細な根拠も確認できる。「ドレッシング材の交換方法」DVD付き。褥瘡ケアの理解と実践力向上に。



「これ」だけは知っておきたい 高齢者ケアにおける 命を守る知識と技術 超基礎編

著：高野真一郎
定価：本体 1800 円＋税
メディカルパブリッシャー

現場で働く看護師が確実に得ておきたい高齢者ケアの基本的な知識と技術を紹介。著者オリジナルのレクチャーマニュアルをベースに、バイタルサインの見方から看取りまでの知識と技術を細分化し、重要度の目安を示しながら解説する。



「感染症パニック」を防げ! リスク・コミュニケーション入門

著：岩田健太郎
定価：本体 860 円＋税
光文社

感染症対策においては、パニックによる被害拡大を防ぐリスク・コミュニケーションが重要となる。本書では人の心に届くコミュニケーションを解説するとともに、エボラ出血熱、デング熱など6つの重大感染症を例に、リスクを伝える技術の実践を展開する。



未来につながる療育・介護労働 生活支援と発達保障の視点から

編著：北垣智基／鴻上圭太／藤本文朗
定価：本体 2200 円＋税
クリエイツかもがわ

重症心身障害児者の療育と高齢者介護、双方に共通する基本理念は「その人らしい」暮らしの支援である。医療と介護の境界がオーバーラップする時代に、あらためて労働環境としての療育と介護の課題を考える、看護界にも参考になる1冊。